



やまばと 学校だより No.15

千葉市立養護学校
千葉市若葉区大宮町1066の1
Tel 043(265)9293
令和6年3月7日(木)発行

ご卒業おめでとうございます

校長 白井 貴

春の息吹が感じられるこのよき日に、令和5年度の卒業証書授与式を無事に行えることをうれしく思うとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

中学部21名、高等部52名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、卒業証書を手渡ししながら、この一年間の思い出が蘇ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が五類へ移行し「新しい生活様式」と呼ばれた生活スタイルがコロナ前に戻り始めました。喜ばしいことも多いのですが、コロナ前の生活がわからず、戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。

また、今年度、養護学校は60周年を迎える記念の年でもありました。伝統を受け継ぎ、まとめ、そして、さらに発展させるためのスタートの年でした。

中学部3年生の皆さんとの一番の思い出は修学旅行です。ハイランドパークでいろいろな乗り物に乗ったり、サファリパークでドキドキしながら猛獣と関わったりと皆さんと一緒にいい思い出を作れました。

他にも、げんき交流会でのボッチャやフライングディスク競技、音楽発表会でのお囃子演奏、体育祭や駅伝大会、そして、作業製品を一生懸命に製作、販売する皆さんの頑張る姿が忘れられません。

中学部を卒業する皆さんは、4月から高等部へ進学します。他の学校から進学してくる友達とともに学び、さらにたくましく成長してくれることを期待しています。

高等部3年生との思い出も、やはり修学旅行が一番印象深いです。

海遊館や大阪城、そして、USJ。気温も気持ちも「あつく」、一緒に楽しませてもらいました。

また、普段の学校生活では、夏の暑い日も冬の寒い日も身体作りや作業学習に、常に目標をもって一生懸命に取り組みましたね。また「ちしろまつり」や「ふれあいフェスタ」では、3年生が先頭に立って行事を盛り上げ、学校をリードする姿は大変立派でした。

4月からいよいよ次のステージが始まります。皆さんが巣立っていく社会には、まだまだ多くの困難が待ち受けています。

でも、皆さんなら大丈夫。「自分の命は自分で守る」「人とのつながりを大切にする」皆さんは、これらのことを学んできました。

昨年、ミセスグリーンアップルの「ケセラセラ」という曲が流行しました。「ケセラセラ」、どんな意味でしょうか。「なるようになる」という意味だそうです。苦しい時、辛い時、場合によっては、「なるようになるさ」と前向きに笑顔で乗り越えて行ってほしいです。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。特に高等部卒業生の保護者の皆様におかれましては、社会へ送り出す喜びと共に不安もあることでしょう。

しかし、今、目の前にいる生徒たちは、心身共に大きく成長しました。ご家族や地域からの期待に十分応えていけると我々は信じています。

教職員一同、誠心誠意、指導・支援をしてきたつもりですが、至らぬ点も多々あったかと思えます。それにも関わらず、いつも温かく応援をしてくださり、ご協力いただいたことに、感謝申し上げます。

結びに、卒業生の皆さん、そして関わる全ての方々が、これまで以上に幸せな日々を過ごせることを祈念して式辞といたします。